

東京オリンピック・パラリンピックに係る県関係の総経費（試算） について

平成 30 年 2 月 1 日
東京オリンピック・パラリンピック推進課
電話：043-223-2434

東京オリンピック・パラリンピックに係る県関係の経費について、昨年 1 月時点で合計 150 億円～180 億円と試算したところです。

今回、平成 30 年度当初予算編成に当たり、開催準備の進捗状況等を踏まえ、あらためて試算した結果、合計で 160 億円～180 億円となりました。このうち、平成 29 年度までの執行見込みは約 36 億円となり、平成 30 年度当初予算案では、約 34 億円を計上しています。

なお、試算後も引き続き 180 億円の範囲内となる見込みです。

1 県関係経費の概要

平成 26 年度から平成 32 年度までの 7 年間で見込まれる経費は次のとおりです。

(1) 2020 年の大会開催にあたり直接要する経費… 28 億円

- ・キャンプ・国際大会の誘致・受入（4 億円）
- ・アスリート強化支援（6 億円）
- ・オリンピック・パラリンピック関連施設整備市町村貸付金（10 億円）
- ・機運醸成等（8 億円）

(2) 大会開催に伴い前倒実施し、大会後もその効果が継続する取組に関する経費

… 130 億円

大会後も経済・観光振興、地域の活性化、スポーツ振興、県民生活の向上等の効果が期待できる取組

- ・大会関連施設の改修等（63 億円）
- ・総合スポーツセンターの改修（34 億円）
- ・観光客受入体制整備等（24 億円）
- ・バリアフリー化の推進（8 億円）
- ・テロ対策など危機管理対策等（1 億円）

(1) + (2) = 158 億円（約 160 億円）

(3) 今後の支出の上振れ等に対応する分（予備）… 20 億円

- ・建築資材の高騰
- ・一宮町が検討を進めている上総一ノ宮駅東口改札口整備に対する支援
- ・東京パラリンピックの聖火リレー など

合計 (1) + (2) + (3) ≒ 180 億円

2 前回試算との比較

①2020年の大会開催にあたり直接要する経費

(単位：億円)

主な事業	H29.1試算		H30.2試算	
		H26-28 執行済		H26-29 執行見込
キャンプ・国際大会の誘致・受入 (誘致活動、スポーツコンシェルジュ、国際競技大会誘致等)	4	1	4	1
アスリート強化支援 (選手強化の取組への助成、障害者競技組織の体制整備)	6	3	6	5
オリンピック・パラリンピック関連施設整備市町村貸付金 (競技場等の整備に対する無利子貸付)	10	4	10	7
機運醸成等 (競技普及・教育、都市ボランティア、文化プログラム、聖火リレー等)	7	1	8	1
小計	27	9	28	14

②大会開催に伴い前倒実施し、大会後もその効果が継続する取組に関する経費

主な事業	H29.1試算		H30.2試算	
		H26-28 執行済		H26-29 執行見込
大会関連施設の改修等 (幕張メッセの大規模改修、自然公園整備、保安林整備)	57	0	63	9
総合スポーツセンターの改修 (武道館の空調設備、野球場の耐震化等)	34	3	34	5
観光客受入体制整備等 (公衆無線LAN、多言語対応、観光トイレ等整備等)	22	3	24	6
バリアフリー化の推進 (鉄道駅・バス・タクシー等のバリアフリー化、障害者スポーツ振興等)	7	-	8	2
テロ対策など危機管理対策等 (テロ対策、感染症対策訓練等)	1	0	1	0
小計	121	6	130	22

①+②

H29.1試算		H30.2試算	
	H26-28 執行済		H26-29 執行見込
(148)	15	(158)	36
≒ 150		≒ 160	

③今後の支出の上振れ等に対応する分(予備)

H29.1試算	H30.2試算
30	20

④合計

(①+②+③)

H29.1試算		H30.2試算	
	H26-28 執行済		H26-29 執行見込
180	15	180	36

※該当する事業が無い場合は「-」、事業費が5千万円未満の場合は「0」を記載しています。

3 県の総経費における財源

今回の試算において、平成26年度から平成30年度の執行見込額は約70億円となり、そのうち国庫支出金等の特定財源を除いた一般財源ベースでは、約10億円となっています。

また、オリンピック・パラリンピックに向けて関係自治体が負担する行政的経費として155億円と、聖火リレーに係る経費として、全国で40億円が宝くじ財源で措置されることとされています。本県への配分額については、平成29年度分として暫定的に約5億とされており、来年度以降の配分額は、29年度の暫定額を含めて、精査されることとなっています。

なお、29年度に本県に配分された宝くじ財源は、災害復興・地域再生基金に積み立てられ、今後、オリンピック・パラリンピック関連事業に充当されることとなります。

(単位：億円)

年度	事業費	財源内訳			
		特定財源			一般財源
		国庫支出金	地方債	その他	
H26-29年度 (執行見込額)	36	1	4	23	8
H30年度 (当初予算計上額)	34	2	5	25	2
合計 (H26-30年度)	70	3	9	48	10

【参考】平成30年度当初予算案における東京オリンピック・パラリンピック関連の主な事業

予算額 3,408,555千円 (H29 2,236,528千円)

1 2020年の大会開催にあたり直接要する経費 602,721千円(H29 543,738千円)

主な事業（記者発表資料掲載ページ）	H30	H29
オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進事業（P.27）	9,000	9,900
東京2020への機運醸成に向けた情報発信事業【新規】（P.97）	30,000	-
東京オリンピック・パラリンピックに向けたボランティアの確保・育成（一部）（P.97）	11,829	5,220
東京オリンピック・パラリンピックCHIBA推進会議事業（一部）（P.98）	15,300	6,444
オリンピック・パラリンピック文化プログラムを契機とした千葉の文化力向上事業（P.101）	23,992	13,618
オリンピック・パラリンピック普及・教育推進事業（P.118）	37,600	37,556
東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業（P.118）	115,000	115,000
キャンプ・国際大会誘致・受入事業（P.119）	5,500	5,500
国際スポーツ競技大会支援事業（P.120）	30,000	20,000
千葉県スポーツコンシェルジュ運営事業（P.120）	24,500	24,500
（特）市町村振興資金（東京オリンピック・パラリンピック関連施設等整備事業）（P.124）	300,000	300,000

2 大会開催に伴い前倒し実施し、大会後もその効果が継続する取組に関する経費

2,805,834千円(H29 1,692,790千円)

主な事業（記者発表資料掲載ページ）	H30	H29
福祉タクシー導入促進事業（P.42）	70,000	70,000
治山事業（保安林整備事業の一部：一宮町東浪見）（P.57）	286,640	-
千葉県GAP推進事業（P.76）	13,070	3,100
交通安全施設整備事業（一部：幕張メッセ及び釣ヶ崎海岸周辺）（P.90）	71,023	-
鉄道駅バリアフリー設備整備事業補助（P.92）	95,979	33,333
東京オリンピック・パラリンピックに向けたボランティアの確保・育成（一部）（P.97）	7,500	8,000
多言語観光案内板整備事業（P.97）	10,000	10,000
東京オリンピック・パラリンピックCHIBA推進会議事業（一部）（P.98）	1,000	-
（特）日本コンベンションセンター国際展示場事業（幕張メッセ大規模改修事業）（P.98）	1,236,410	798,300
県立九十九里自然公園整備事業（P.98）	91,700	56,693
オール千葉おもてなし推進事業（P.99）	14,000	※ 7,000 8,000
食のおもてなし力向上事業（P.99）	7,000	
海外観光ゲストへのおもてなし力向上事業（P.99）	10,000	10,000
訪日観光客商店街おもてなし事業（P.100）	10,000	10,000
外国人観光客誘致のための公衆無線LAN環境整備事業（P.100）	100,000	100,000
外国人観光客向け千葉県周遊コースPR事業（P.100）	5,000	5,000
観光地魅力アップ整備事業（P.102）	280,000	300,000
障害者スポーツ振興事業（P.119）	19,000	1,360
特別支援学校を拠点とした障害者スポーツ振興事業【新規】（P.119）	12,000	-
総合スポーツセンター野球場耐震・大規模改修事業（P.121）	381,800	70,000

H29予算については、※印は9月補正後予算額、その他は6月補正後予算額を記載しています。